

# 地域で呼びかけ、 早めの避難

～ 自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくり～

広島防災リーダーネットワーク会議

# 広島防災リーダーネットワーク会議 について

私たち、広島防災リーダーネットワーク会議は  
広島県内で活躍している防災士などの防災リーダーが  
交流を図りながら、地域や企業・学校などの防災減災  
活動を推進することによって、近年多発する自然災害  
からの被害を軽減し、災害から犠牲者を出さない活動  
を進めるために連携することを目的にしたもので、  
令和2年4月発足した団体です。現在広島県内の防災  
リーダー8名と2団体が所属しています。

現在の活動は、広島県消防保安課が進める  
「避難の呼びかけ体制づくり」に一致団結して活動し  
ています。





平成26年8.20広島市豪雨土砂災害（安佐北区三入南）

## 広島県は土砂災害警戒区域の 総区数が全国で1番多い都道府県です

1	広島県	4 7 3 2 9箇所	6	熊本県	2 1 2 6 8箇所
2	島根県	3 2 2 6 8箇所	7	兵庫県	2 1 1 3 5箇所
3	長崎県	3 0 1 8 9箇所	8	鹿児島県	2 0 0 4 6箇所
4	長野県	2 7 0 1 4箇所	9	大分県	1 9 6 5 3箇所
5	山口県	2 5 6 0 4箇所	10	和歌山県	1 8 7 9 3箇所

※国土交通省砂防部「全国における土砂災害警戒区域等の指定状況（R2.3.31時点）」より引用

※各都道府県により推計された土砂災害警戒区域の総数です。

※令和2年3月末時点の値であり、集計時期の違い等により、ここで公表している都道府県の指定数と都道府県が公表している市町村別指定数の合計が一致しない場合があります。

6.29豪雨災害  
死者行方不明者32名

出典：広島県「地域の砂防情報アーカイブ」



平成22年7月庄原豪雨  
死者1名，行方不明者1名  
家屋全壊4戸，半壊6戸他

出典：広島県「地域の砂防情報アーカイブ」



## 広島県内においても 多数の豪雨災害が発生している

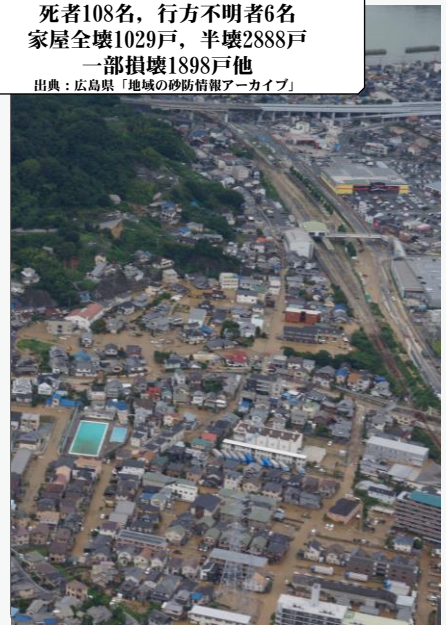
平成26年8.20広島市豪雨土砂災害  
死者77名(災害関連死3名含む)  
家屋全壊133戸，半壊122戸  
一部損壊175戸他

出典：広島県「地域の砂防情報アーカイブ」



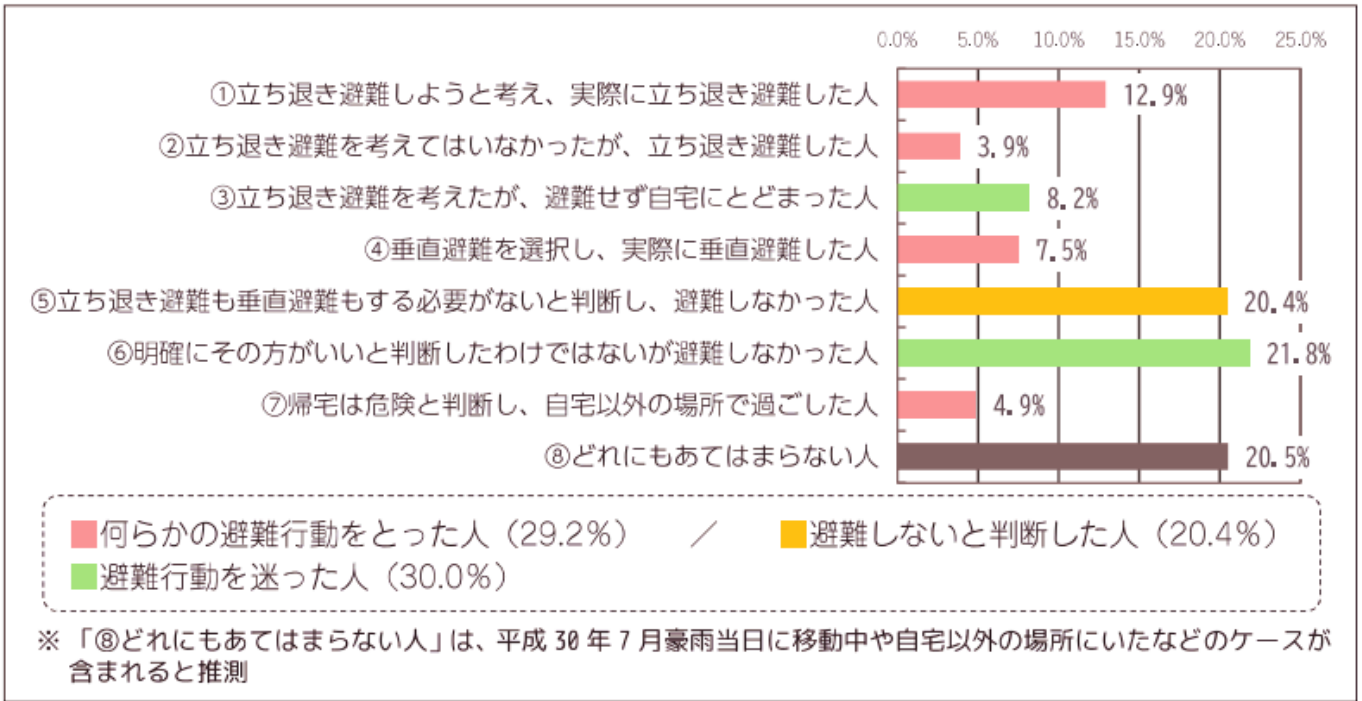
平成30年7月豪雨災害  
死者108名，行方不明者6名  
家屋全壊1029戸，半壊2888戸  
一部損壊1898戸他

出典：広島県「地域の砂防情報アーカイブ」



広島県が行動科学等の見地を用い実施した「平成30年7月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査」によると、下図のとおり、平成30年7月豪雨災害時に何らかの避難行動を取った人の割合は、全体の29%程度であり、避難行動を取った人は多くありませんでした。

図 平成30年7月豪雨災害時の避難の実態



出典：平成30年7月豪雨に関する県民の避難行動の調査

【調査概要】

調査方法：郵送調査（平成31年4月実施）

調査対象：被害が大きかった12市町の居住者5,000人

（広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、東広島市、安芸高田市、海田町、熊野町、坂町）

回答者：2,938人（回収率58.8%）

引用：広島県危機管理監消防保安課  
「自主防災組織による避難の呼びかけ  
体制づくりマニュアル」



避難行動を取らなかった理由としては、「自分は大丈夫だと思っていた」、「一人では避難を決められなかった」、「周囲の人が誰も避難していなかった」など、一人では避難を決断できなかったことや、周囲が避難していない様子を見たこと等によって、避難行動を妨げることが明らかになりました。

一方、避難行動を取った理由として、「隣の人が避難するのを見たから」、「友人から避難を呼びかけられたから」、「いつ避難すべきか迷っていたら近所の人が声をかけてくれたから」など、他者の動向や避難を呼びかけられること等によって、避難行動が促されることも判明しました。

さらに、平成30年7月豪雨災害時に避難した人が多かった地区では、避難を呼びかけた自主防災組織や近隣の住民同士が声をかけあって避難をしている例が多くありました。



このように、一人だけでは避難が不安な場合や自分は大丈夫と感じている場合でも、避難を呼びかけあうことにより、避難行動に結びつきやすくなります。また、日頃から付き合いのある近隣住民同士であると、より避難に応じやすくなるなど、避難行動を促す上で、自主防災組織による呼びかけはとても重要です。



「避難の呼びかけ体制」とは、住民に早めの避難を促すため、呼びかけを開始するタイミングや方法などのルールを決めて、自主防災組織が大雨災害に対して効率的で効果的な呼びかけを行う仕組みです。

広島県では、令和元年度に、モデル組織を選定して、自主防災組織による避難を呼びかける体制づくりに取り組みました。

広島防災リーダーネットワーク会議のメンバーもアドバイザーとしてモデル組織の方とともに作成しました。



自主防災組織による  
避難の呼びかけ体制づくりマニュアル



 広島県

出展：広島県「HP」  
「自主防災組織による避難の  
呼びかけ体制づくりマニユ  
アル」を作成しました

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/5/hinann-yobikake-manual.html>



# 広島防災リーダーネットワーク会議

〒739-1732 広島市安佐北区落合南3丁目6番1号